

令和 7 年度総合教育センター活動報告

大坂 遊

要旨

本稿は、周南公立大学総合教育センターが令和 7（2025）年度に実施した主な取組について、地域共創、高大接続、学生支援、国際・キャリア教育の各領域から整理し、その内容を報告するものである。本年度は、地域共創教育コンソーシアムを基盤とした関係機関との協議や探究学習を軸とする高大接続の実践、学生同士の学修支援や相談活動の展開に加え、学内外を対象とした講演会・公開講座等の事業を通して、多様な学習機会の提供を行った。本稿では、これらの活動の概要を示す。

キーワード：総合教育センター、地域共創、高大接続、学生支援、国際・キャリア教育

1. はじめに

周南公立大学総合教育センターは、本学の教育の質保証および教育改善を支える組織として、令和 3（2021）年に設立された。全学に関わる基盤教育、教職課程、国際教育、学修支援等を担うとともに、教育方法の検討や学修成果の把握、教職員の力量形成支援などを通して、学生の学びを支える役割を果たしている。また、公立大学として地域社会との連携を重視し、大学教育と地域の教育活動とを結び付けるための調整機能を担ってきた。本稿では、こうした役割を踏まえ、令和 6（2024）年度に総合教育センターが実施した主な取組について、その内容を整理し報告する。

2. 地域共創

地域共創の分野では、地域共創教育コンソーシアムを軸として、自治体や高等学校、特別支援学校等との連携に関する協議や調整を継続的に行った。周南市・下松市・光市の各教育委員会をはじめとする関係機関との意見交換や訪問を通じて、各校の状況や課題を共有し、今後の連携のあり方について検討を進めた。

あわせて、地域における探究学習やキャリア教育への関心を踏まえ、大学の教育資源をどのように活用できるかについて学内関係部署と協議を行った。都市圏大学との連携や将来的な事業展開も視野に入れつつ、地域との協働の可能性について検討を重ねた。これらの取組は、大学と地域との関係を整理し、今後の連携の基礎となる情報や枠組みを蓄積する機会となった。

3. 高大接続

高大接続に関しては、高校教育、とりわけ「総合的な探究の時間」と大学教育との接続を意識し、複数の高等学校と継続的な協議を行った。山口県立新南陽高等学校や県立岩国高等学校をはじめとする学校との打ち合わせを通じて、探究テーマの設定や学習の進め方について情報交換を行うとともに、必要に応じてセンターの教員やスタッフが助言・支援を行った。

また、今年度より地域共創教育コンソーシアムの活動の一環として開始された月1回のキャリア探究プログラム「My Way 探究」では、高校生と地域関係者が同じ場で学ぶ機会を設けた。各市教育委員会との調整や広報、当日の運営を行い、地域と協力しながらプログラムを実施した。これらの取組を通じて、高校教育と大学教育の接続について、実践を通じた検討を進めることができた。

4. 学生支援

学生支援の分野では、ピアサポートセンターを中心に、学生同士の学修支援や相談活動を継続して行った。新スタッフを対象とした研修や定期的なミーティングを実施し、活動内容の確認や情報共有を行うとともに、キャリア形成に関わるレポート添削などの支援を行った。

また、授業評価アンケートや学修成果測定（PROG）に関する検討、自己点検・評価への対応を通じて、学修状況を把握するための基礎的な取組を進めた。これらは、学生の学修環境や教育内容を見直すための資料として活用されており、今後の改善に向けた検討の土台となっている。

5. 国際・キャリア教育

国際・キャリア教育においては、語学教育ユニットを中心に、学内外での学修機会の提供を行った。「English Chat」などの国際交流イベントを継続的に実施し、学生が外国語を使用する機会や異文化に触れる場を設けた。また、海外語学研修に関する説明会やオリエンテーションを実施し、参加を検討する学生への情報提供を行った。

加えて、客員教授等による講演会や市民公開講座を開催し、学生や地域住民が国際情勢や社会課題について学ぶ機会を提供した。キャリア教育に関しても、地域と連動した探究・キャリアプログラムを実施し、学生が地域課題や将来の進路について考える場を設けた。

6. おわりに

以上のように、総合教育センターでは、地域共創、高大接続、学生支援、国際・キャリア教育の各分野において、関係機関との協議や具体的な事業の実施を通じた取組を行ってきた。これらは、大学教育と地域社会との関係を整理

8 総合教育センター紀要 第2号

し、学生の学びを支えるための基礎的な活動として位置づけられる。今後は、これまでに得られた知見や課題を踏まえながら、取組の内容や方法について引き続き検討を重ね、より安定的な運営と改善につなげていくことが求められる。

表1 令和7(2025)年度における総合教育センターの主な取り組み

令和7(2025)年4月	<ul style="list-style-type: none"> ・PROG(ジェネリックスキル)測定テストの実施(1・3年生対象) ・TOEIC Bridge テストの実施(1年生対象) ・ピアサポートセンター新年度業務の開始、新スタッフ研修会実施 ・総合科目「ワークショップデザインⅠ・Ⅱ」授業開始 ・客員教授廣中雅之氏による特別講演会主催
令和7(2025)年5月	<ul style="list-style-type: none"> ・地域共創教育コンソーシアム構成団体へのヒアリングと関連事業実施に向けた協議
令和7(2025)年6月	<ul style="list-style-type: none"> ・学内国際交流イベント「English Chat」開催(以降、継続的に開催)
令和7(2025)年7月	<ul style="list-style-type: none"> ・客員教授廣中雅之氏による特別講演会主催
令和7(2025)年8月	<ul style="list-style-type: none"> ・山口県議会文教警察委員会の視察対応(本学地域連携の取り組みについて説明) ・教職課程学生サークル主催イベント「みんなで作る!理想のMy City」の企画・実施
令和7(2025)年9月	<ul style="list-style-type: none"> ・地域共創教育コンソーシアム関連事業「My Way 探究」実施
令和7(2025)年10月	<ul style="list-style-type: none"> ・総合科目「ワークショップデザインⅢ」授業開始 ・大正大学地域共創コンソーシアムに周南市が加盟(加盟に向けた協議を担当) ・地域共創教育コンソーシアム構成団体との協定書策定に向けた訪問・協議 ・地域共創教育コンソーシアム関連事業「My Way 探究」実施
令和7(2025)年11月	<ul style="list-style-type: none"> ・兼原信克氏による特別講演会主催 ・森本敏氏による特別講演会主催
令和7(2025)年12月	<ul style="list-style-type: none"> ・尾上定正氏による特別講演会実施 ・地域共創教育コンソーシアム関連事業「My Way 探究」実施
令和8(2026)年1月	<ul style="list-style-type: none"> ・地域共創教育コンソーシアム関連事業「My Way 探究」実施
令和8(2026)年2月	<ul style="list-style-type: none"> ・地域共創教育コンソーシアム関連教育講演会「地域と共に創る教育」主催
令和8(2026)年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・大正大学と連携した周南市特産品販売プログラムの実施に向けた現地視察・協議